

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	江口 文子
主な担当科目	ピアノ実技個人レッスン
シラバス	次ページをご参照ください
2022年の教育目標・授業に臨む姿勢	直接に関わるのが難しい海外や遠隔地の方と音楽を通してコミュニケーションを取り、連携していくことで音楽教育の新たな領域を模索していく。
2022年の教育に関する自己評価	活発なコミュニケーションや質疑応答を取り入れて、学生の現場力を引き出すことを意識し積極的に活動することができた。過去の芸術を再現するより、今を生きる人に向けて発信することを意識し、工夫を積み重ねることで新たな可能性を見出すことができた。
2022年のFD活動に関する自己評価	様々な方のお話を伺い、多様な背景を持つ学生が持続的に学べる環境に意識をおき、新しい技術や情報を取り入れながら、自己の研究活動に生かすことができたと感じている。
授業改善のために取り入れた研修内容	学年や国籍、専攻の壁を乗り越えてコミュニケーションの幅を広げ、自分の仕事に応用した。

科目名－クラス名

ピアノ

曜日時限

担当教員

実技

実技担当教員

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計
				定期試験					
実技・実習	1～	後期	0	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
				100	0	0	0	0	100

教育到達目標と概要

学部研究生の実技（個人レッスン週1回60分）科目である。ピアノ（鍵盤）音楽について、演奏という行為を通して理解を深めていくことを目標としている。個々の作品の音楽的内容、それらの作品が成立した背景などについて学修する。

学修成果

それぞれの作品に即した様々な演奏法、多彩な音色（タッチ）について研究し、また和声感、リズム感など演奏表現に必要な多くの要素を磨き、表現力を養っていく。学修した作品については、レパートリーとしてしっかりと身に付けていく。

授業展開と内容

第1回	オリエンテーション（年間レッスン計画、目的、勉強方法等）
第2回	テクニック修得に基づく基礎知識
第3回	様々なエチュード作品について知識を深める
第4回	エチュード作品の奏法
第5回	エチュード作品の解釈
第6回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品分析をする）
第7回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（楽曲内容を理解する）
第8回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを学ぶ）
第9回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを修得する）
第10回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）
第11回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点の解決方法を探る）
第12回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈を学ぶ）
第13回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈等を生かす）
第14回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）
第15回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を修得する）
第16回	スケールの奏法について
第17回	音楽的表現に沿った脱力奏法について
第18回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作曲者について理解する）
第19回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（原典版・校訂版、関連文献・資料について学修する）
第20回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を修得する）
第21回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品分析をする）
第22回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（楽曲内容を理解する）
第23回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（ロマン派における演奏スタイルを学ぶ）
第24回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（ロマン派における演奏スタイル等を修得する）
第25回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）
第26回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点の解決方法を探る）
第27回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈を学ぶ）
第28回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈等を生かす）
第29回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）
第30回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を修得する）

履修上の注意

実技試験課題曲については、その都度発表する。前期1回、後期1回試験を行い、その素点を基に評価する。鍵盤楽器部会の指定する、招聘教授による公開講座・レッスン・演奏会等を積極的に受講すること。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

十分に楽曲分析や作曲についての研究を行い練習し、レッスン受講の準備をすること

教科書・参考書

適宜資料等を配付する

科目名－クラス名

ピアノ

曜日時限

担当教員

実技

実技担当教員

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計
				筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
実技・実習	1～	通年	0	100	0	0	0	0	100

教育到達目標と概要

学部研究生の実技（個人レッスン週1回60分）科目である。ピアノ（鍵盤）音楽について、演奏という行為を通して理解を深めていくことを目標としている。個々の作品の音楽的内容、それらの作品が成立した背景などについて学修する。

学修成果

それぞれの作品に即した様々な演奏法、多彩な音色（タッチ）について研究し、また和声感、リズム感など演奏表現に必要な多くの要素を磨き、表現力を養っていく。学修した作品については、レパートリーとしてしっかりと身に付けていく。

授業展開と内容

第1回	オリエンテーション（年間レッスン計画、目的、勉強方法等）
第2回	テクニック修得に基づく基礎知識
第3回	様々なエチュード作品について知識を深める
第4回	エチュード作品の奏法
第5回	エチュード作品の解釈
第6回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品分析をする）
第7回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（楽曲内容を理解する）
第8回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを学ぶ）
第9回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを修得する）
第10回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）
第11回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点の解決方法を探る）
第12回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈を学ぶ）
第13回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈等を生かす）
第14回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）
第15回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を修得する）
第16回	スケールの奏法について
第17回	音楽的表現に沿った脱力奏法について
第18回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作曲者について理解する）
第19回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（原典版・校訂版、関連文献・資料について学修する）
第20回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を修得する）
第21回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品分析をする）
第22回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（楽曲内容を理解する）
第23回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（ロマン派における演奏スタイルを学ぶ）
第24回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（ロマン派における演奏スタイル等を修得する）
第25回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）
第26回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点の解決方法を探る）
第27回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈を学ぶ）
第28回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈等を生かす）
第29回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）
第30回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を修得する）

履修上の注意

実技試験課題曲については、その都度発表する。前期1回、後期1回試験を行い、その素点を基に評価する。鍵盤楽器部会の指定する、招聘教授による公開講座・レッスン・演奏会等を積極的に受講すること。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

十分に楽曲分析や作曲についての研究を行い練習し、レッスン受講の準備をすること

教科書・参考書

適宜資料等を配付する

科目名－クラス名

ピアノ

曜日時限

担当教員

実技

実技担当教員

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計
				定期試験					
実技・実習	1～	後期	0	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
				100	0	0	0	0	100

教育到達目標と概要

学部研究生の実技（個人レッスン週1回60分）科目である。ピアノ（鍵盤）音楽について、演奏という行為を通して理解を深めていくことを目標としている。個々の作品の音楽的内容、それらの作品が成立した背景などについて学修する。

学修成果

それぞれの作品に即した様々な演奏法、多彩な音色（タッチ）について研究し、また和声感、リズム感など演奏表現に必要な多くの要素を磨き、表現力を養っていく。学修した作品については、レパートリーとしてしっかりと身に付けていく。

授業展開と内容

第1回	オリエンテーション（年間レッスン計画、目的、勉強方法等）
第2回	テクニック修得に基づく基礎知識
第3回	様々なエチュード作品について知識を深める
第4回	エチュード作品の奏法
第5回	エチュード作品の解釈
第6回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品分析をする）
第7回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（楽曲内容を理解する）
第8回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを学ぶ）
第9回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを修得する）
第10回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）
第11回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点の解決方法を探る）
第12回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈を学ぶ）
第13回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈等を生かす）
第14回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）
第15回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を修得する）
第16回	スケールの奏法について
第17回	音楽的表現に沿った脱力奏法について
第18回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作曲者について理解する）
第19回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（原典版・校訂版、関連文献・資料について学修する）
第20回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を修得する）
第21回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品分析をする）
第22回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（楽曲内容を理解する）
第23回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（ロマン派における演奏スタイルを学ぶ）
第24回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（ロマン派における演奏スタイル等を修得する）
第25回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）
第26回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点の解決方法を探る）
第27回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈を学ぶ）
第28回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈等を生かす）
第29回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）
第30回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を修得する）

履修上の注意

実技試験課題曲については、その都度発表する。前期1回、後期1回試験を行い、その素点を基に評価する。鍵盤楽器部会の指定する、招聘教授による公開講座・レッスン・演奏会等を積極的に受講すること。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

充分に楽曲分析や作曲についての研究を行い練習し、レッスン受講の準備をすること

教科書・参考書

適宜資料等を配付する

科目名－クラス名

ピアノ

曜日時限

実技

担当教員

実技担当教員

授業形態	開講年次	開講期	単位数	定期試験				その他の試験	合計	
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表		授業内小テスト
実技・実習	1～	通年	0	評価割合	100	0	0	0	0	100

教育到達目標と概要

学部研究生の実技（個人レッスン週1回60分）科目である。ピアノ（鍵盤）音楽について、演奏という行為を通して理解を深めていくことを目標としている。個々の作品の音楽的内容、それらの作品が成立した背景などについて学修する。

学修成果

それぞれの作品に即した様々な演奏法、多彩な音色（タッチ）について研究し、また和声感、リズム感など演奏表現に必要な多くの要素を磨き、表現力を養っていく。学修した作品については、レパートリーとしてしっかりと身に付けていく。

授業展開と内容

- 第1回 オリエンテーション（年間レッスン計画、目的、勉強方法等）
- 第2回 テクニック修得に基づく基礎知識
- 第3回 様々なエチュード作品について知識を深める
- 第4回 エチュード作品の奏法
- 第5回 エチュード作品の解釈
- 第6回 前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品分析をする）
- 第7回 前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（楽曲内容を理解する）
- 第8回 前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを学ぶ）
- 第9回 前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを修得する）
- 第10回 前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）
- 第11回 前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点の解決方法を探る）
- 第12回 前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈を学ぶ）
- 第13回 前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈等を生かす）
- 第14回 前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）
- 第15回 前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を修得する）
- 第16回 スケールの奏法について
- 第17回 音楽的表現に沿った脱力奏法について
- 第18回 後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作曲者について理解する）
- 第19回 後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（原典版・校訂版、関連文献・資料について学修する）
- 第20回 後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を修得する）
- 第21回 後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品分析をする）
- 第22回 後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（楽曲内容を理解する）
- 第23回 後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（ロマン派における演奏スタイルを学ぶ）
- 第24回 後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（ロマン派における演奏スタイル等を修得する）
- 第25回 後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）
- 第26回 後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点の解決方法を探る）
- 第27回 後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈を学ぶ）
- 第28回 後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈等を生かす）
- 第29回 後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）
- 第30回 後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を修得する）

履修上の注意

実技試験課題曲については、その都度発表する。前期1回、後期1回試験を行い、その素点を基に評価する。鍵盤楽器部会の指定する、招聘教授による公開講座・レッスン・演奏会等を積極的に受講すること。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

十分に楽曲分析や作曲についての研究を行い練習し、レッスン受講の準備をすること

教科書・参考書

適宜資料等を配付する

科目名－クラス名

ピアノ

曜日時限

実技

担当教員

実技担当教員

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法	定期試験				その他の試験	合計
					筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
実技・実習	1～	通年	0		100	0	0	0	0	100

教育到達目標と概要

音楽科研究生の主科実技（実技レッスン）科目である。ピアノ（鍵盤）音楽について、演奏を通して理解を深めていくことを目標としている。ヨーロッパ音楽を起点とし、その歴史的な流れに沿って様々な作品に触れ、個々の作品の音楽的内容、それらの作品が成立した背景等について学習する。

学修成果

それぞれの作品に即した様々な演奏法、多彩な音色（タッチ）等について研究し、また和声感、リズム感等演奏表現に必要な多くの要素を磨き、表現力を養っていく。修了後のキャリア形成を視野に入れて、多角的な学修を蓄積する。

授業展開と内容

第1回	前期オリエンテーション（レッスン計画、目的勉強方法等）
第2回	個々の課題における改善方法
第3回	前期実技試験曲を中心としたレッスン（作曲者についての理解を深める）
第4回	前期実技試験曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を学ぶ）
第5回	前期実技試験曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を修得する）
第6回	前期実技試験曲を中心としたレッスン（楽曲内容を学ぶ）
第7回	前期実技試験曲を中心としたレッスン（楽曲内容を理解する）
第8回	前期実技試験曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを学ぶ）
第9回	前期実技試験曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを修得する）
第10回	前期実技試験曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）
第11回	前期実技試験曲を中心としたレッスン（技術的問題点の解決方法を探る）
第12回	前期実技試験曲を中心としたレッスン（演奏解釈を学ぶ）
第13回	前期実技試験曲を中心としたレッスン（演奏解釈などを活かす）
第14回	前期実技試験曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）
第15回	前期実技試験曲を中心としたレッスン（音楽表現を修得する）
第16回	後期オリエンテーション（レッスン計画、目的勉強方法等）
第17回	個々の課題における改善方法
第18回	修了実技試験曲を中心としたレッスン（作曲者についての理解を深める）
第19回	修了実技試験曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を学ぶ）
第20回	修了実技試験曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を修得する）
第21回	修了実技試験曲を中心としたレッスン（楽曲内容を学ぶ）
第22回	修了実技試験曲を中心としたレッスン（楽曲内容を理解する）
第23回	修了実技試験曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを学ぶ）
第24回	修了実技試験曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを修得する）
第25回	修了実技試験曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）
第26回	修了実技試験曲を中心としたレッスン（技術的問題点の解決方法を探る）
第27回	修了実技試験曲を中心としたレッスン（演奏解釈を学ぶ）
第28回	修了実技試験曲を中心としたレッスン（演奏解釈等を活かす）
第29回	修了実技試験曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）
第30回	修了実技試験曲を中心としたレッスン（音楽表現を修得する）

履修上の注意

実技試験課題曲についてはその都度掲示発表する。前期1回、後期1回試験を行い、その素点を基に評価する。鍵盤楽器部会の指定する、招聘教授による公開講座・レッスン・演奏会等を積極的に聴講すること。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

レッスンを受講する際には、充分準備をして臨むこと。

教科書・参考書

適宜資料を配付する。

科目名－クラス名

ピアノ

曜日時限

実技

担当教員

実技担当教員

授業形態	開講年次	開講期	単位数	定期試験				その他の試験	合計	
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表		授業内小テスト
実技・実習	1～	通年	0	評価割合	100	0	0	0	0	100

教育到達目標と概要

音楽科研究生の主科実技（実技レッスン）科目である。ピアノ（鍵盤）音楽について、演奏を通して理解を深めていくことを目標としている。ヨーロッパ音楽を起点とし、その歴史的な流れに沿って様々な作品に触れ、個々の作品の音楽的内容、それらの作品が成立した背景等について学習する。

学修成果

それぞれの作品に即した様々な演奏法、多彩な音色（タッチ）等について研究し、また和声感、リズム感等演奏表現に必要な多くの要素を磨き、表現力を養っていく。修了後のキャリア形成を視野に入れて、多角的な学修を蓄積する。

授業展開と内容

- 第1回 前期オリエンテーション（レッスン計画、目的勉強方法等）
- 第2回 個々の課題における改善方法
- 第3回 前期実技試験曲を中心としたレッスン（作曲者についての理解を深める）
- 第4回 前期実技試験曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を学ぶ）
- 第5回 前期実技試験曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を修得する）
- 第6回 前期実技試験曲を中心としたレッスン（楽曲内容を学ぶ）
- 第7回 前期実技試験曲を中心としたレッスン（楽曲内容を理解する）
- 第8回 前期実技試験曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを学ぶ）
- 第9回 前期実技試験曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを修得する）
- 第10回 前期実技試験曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）
- 第11回 前期実技試験曲を中心としたレッスン（技術的問題点の解決方法を探る）
- 第12回 前期実技試験曲を中心としたレッスン（演奏解釈を学ぶ）
- 第13回 前期実技試験曲を中心としたレッスン（演奏解釈などを活かす）
- 第14回 前期実技試験曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）
- 第15回 前期実技試験曲を中心としたレッスン（音楽表現を修得する）
- 第16回 後期オリエンテーション（レッスン計画、目的勉強方法等）
- 第17回 個々の課題における改善方法
- 第18回 修了実技試験曲を中心としたレッスン（作曲者についての理解を深める）
- 第19回 修了実技試験曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を学ぶ）
- 第20回 修了実技試験曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を修得する）
- 第21回 修了実技試験曲を中心としたレッスン（楽曲内容を学ぶ）
- 第22回 修了実技試験曲を中心としたレッスン（楽曲内容を理解する）
- 第23回 修了実技試験曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを学ぶ）
- 第24回 修了実技試験曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを修得する）
- 第25回 修了実技試験曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）
- 第26回 修了実技試験曲を中心としたレッスン（技術的問題点の解決方法を探る）
- 第27回 修了実技試験曲を中心としたレッスン（演奏解釈を学ぶ）
- 第28回 修了実技試験曲を中心としたレッスン（演奏解釈等を活かす）
- 第29回 修了実技試験曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）
- 第30回 修了実技試験曲を中心としたレッスン（音楽表現を修得する）

履修上の注意

実技試験課題曲についてはその都度掲示発表する。前期1回、後期1回試験を行い、その素点を基に評価する。鍵盤楽器部会の指定する、招聘教授による公開講座・レッスン・演奏会等を積極的に聴講すること。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

レッスンを受講する際には、充分準備をして臨むこと。

教科書・参考書

適宜資料を配付する。

科目名－クラス名

ピアノ

曜日時限

実技

担当教員

実技担当教員

授業形態	開講年次	開講期	単位数	定期試験				その他の試験	合計	
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表		授業内小テスト
実技・実習	1～	通年	0	評価割合	100	0	0	0	0	100

教育到達目標と概要

音楽科研究生の主科実技（実技レッスン）科目である。ピアノ（鍵盤）音楽について、演奏を通して理解を深めていくことを目標としている。ヨーロッパ音楽を起点とし、その歴史的な流れに沿って様々な作品に触れ、個々の作品の音楽的内容、それらの作品が成立した背景等について学習する。

学修成果

それぞれの作品に即した様々な演奏法、多彩な音色（タッチ）等について研究し、また和声感、リズム感等演奏表現に必要な多くの要素を磨き、表現力を養っていく。修了後のキャリア形成を視野に入れて、多角的な学修を蓄積する。

授業展開と内容

- 第1回 前期オリエンテーション（レッスン計画、目的勉強方法等）
- 第2回 個々の課題における改善方法
- 第3回 前期実技試験曲を中心としたレッスン（作曲者についての理解を深める）
- 第4回 前期実技試験曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を学ぶ）
- 第5回 前期実技試験曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を修得する）
- 第6回 前期実技試験曲を中心としたレッスン（楽曲内容を学ぶ）
- 第7回 前期実技試験曲を中心としたレッスン（楽曲内容を理解する）
- 第8回 前期実技試験曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを学ぶ）
- 第9回 前期実技試験曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを修得する）
- 第10回 前期実技試験曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）
- 第11回 前期実技試験曲を中心としたレッスン（技術的問題点の解決方法を探る）
- 第12回 前期実技試験曲を中心としたレッスン（演奏解釈を学ぶ）
- 第13回 前期実技試験曲を中心としたレッスン（演奏解釈などを活かす）
- 第14回 前期実技試験曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）
- 第15回 前期実技試験曲を中心としたレッスン（音楽表現を修得する）
- 第16回 後期オリエンテーション（レッスン計画、目的勉強方法等）
- 第17回 個々の課題における改善方法
- 第18回 修了実技試験曲を中心としたレッスン（作曲者についての理解を深める）
- 第19回 修了実技試験曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を学ぶ）
- 第20回 修了実技試験曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を修得する）
- 第21回 修了実技試験曲を中心としたレッスン（楽曲内容を学ぶ）
- 第22回 修了実技試験曲を中心としたレッスン（楽曲内容を理解する）
- 第23回 修了実技試験曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを学ぶ）
- 第24回 修了実技試験曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを修得する）
- 第25回 修了実技試験曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）
- 第26回 修了実技試験曲を中心としたレッスン（技術的問題点の解決方法を探る）
- 第27回 修了実技試験曲を中心としたレッスン（演奏解釈を学ぶ）
- 第28回 修了実技試験曲を中心としたレッスン（演奏解釈等を活かす）
- 第29回 修了実技試験曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）
- 第30回 修了実技試験曲を中心としたレッスン（音楽表現を修得する）

履修上の注意

実技試験課題曲についてはその都度掲示発表する。前期1回、後期1回試験を行い、その素点を基に評価する。鍵盤楽器部会の指定する、招聘教授による公開講座・レッスン・演奏会等を積極的に聴講すること。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

レッスンを受講する際には、充分準備をして臨むこと。

教科書・参考書

適宜資料を配付する。

2022年度(後期・通年)「学生による授業評価アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード：1730 教員名：江口 文子

1) 評価結果に対する所見

実技において、受講生 44 名中 10 名の回答者であるため正確さについては少々疑問の余地があるが、回答者の 80%が満足度「そう思う」、10%が「少し思う」と回答しているのは嬉しく受け止めています。

授業において、「インターンシップ」は、年間 30 回のうち 3 回担当しました。受講生 9 名中 6 名が回答する中、66.7%が満足度「そう思う」、33.3%が「少しそう思う」と回答、「あまり思わない」・「思わない」と回答したのは 0%であり、ほぼ全員が満足し興味を持って参加したことが読み取れます。全体として、こちらの意図が伝わり良好なコミュニケーションが図れたと理解しています。

2) 要望への対応・改善方策

実技：ひとりひとりの進度とニーズに合ったレッスンを心がけてゆきたいです。

授業：教職や指導に携わる目標を持った学生のための大切な授業です。学生の意見に耳を傾けつつ、活発なコミュニケーションや質疑応答を授業に取り入れて学生の現場力を引き出してゆく所存でございます。学生の実践的な力を培っていきたいです。

3) 今後の課題

特に担当回数が少ない授業においては、他教員と連携を深め、学生の状況を丁寧に把握し、学生のニーズを受け入れながら、学生のためになる授業を展開したいです。

人とのコミュニケーションを取りにくい生徒さんが以前より増えているように思います。音楽をする事で、より自由な気持ちを生活に持てるよう、教材等も色々な視点で更に考え、ご指導いただきながら大切に時間を使いたいと思います。

以 上